

過去事例を引用した警戒の呼びかけ

平成3年台風第19号 平成3年（1991年）9月27日～9月28日 暴風・高潮

「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組



気象庁 広島地方気象台

Japan Meteorological Agency Hiroshima Local Meteorological Office

平成3年（1991年）台風第19号（9月27日～9月28日）

～猛烈な風により都市機能を麻痺させた平成3年台風第19号～

台風第19号による猛烈な暴風や高潮により国宝の厳島神社が大きな被害を受けたのをはじめ、各地で暴風により倒木や電柱が倒れたり、屋根が飛ぶなど大きな被害がでた。

また、暴風による電力施設の被害により、最大停電率が中国地方の40%に達し、塩害の影響も加わり、最長停電日数は6日間強に及んだ。このため、電力途絶のみならず、断水、電話支障など都市機能が麻痺した。

瀬戸内海では顕著な高潮が発生し、高波とあいまって浸水や護岸の決壊などの被害があった。

当時の状況とは、まったく同じにならないことに留意



暴風と高潮により被害を受けた厳島神社

出典：：太田川河川事務所HP

中国地方の最大風速、最大瞬間風速

地点	最大風速	起時	最大瞬間風速	起時
広島（広島市）	36.0m/s	9/27 20:10	58.9m/s	9/27 19:13
松江（松江市）	28.5m/s	9/27 23:00	56.5m/s	9/27 23:04
岡山（岡山市）	19.5m/s	9/27 22:20	39.4m/s	9/27 22:14
鳥取（鳥取市）	24.9m/s	9/27 22:50	48.6m/s	9/27 22:49

**広島、松江の最大風速
鳥取、松江の最大瞬間風速は
観測史上1位の値**